

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 6 区分
【発行日】 令和 5 年 3 月 17 日 (2023.3.17)

【公開番号】 特開 2022-64938 (P2022-64938A)
【公開日】 令和 4 年 4 月 26 日 (2022.4.26)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-075
【出願番号】 特願 2022-8701 (P2022-8701)
【国際特許分類】

B 6 5 D 77/20 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

G 0 1 N 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 77/20 L

B 6 5 D 65/40 D

G 0 1 N 1/00 1 0 2 C

G 0 1 N 1/00 E

G 0 1 N 1/10 N

10

20

【誤訳訂正書】
【提出日】 令和 5 年 2 月 24 日 (2023.2.24)
【誤訳訂正 1】
【訂正対象書類名】 特許請求の範囲
【訂正対象項目名】 全文
【訂正方法】 変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

体液パラメータを測定するためのセンサ素子の較正又は品質制御のための基準流体を収容している密封袋であって、多層状の周壁を含む、密封袋において、

前記袋は、前記多層状の周壁内の開口部によって形成されたアクセスポートを更に含み、

前記開口部は、単層または多層状のカバーによって封止されており、

前記単層または多層状のカバーは、前記基準流体による酸化に対して前記多層状の周壁よりも耐性があることを特徴とする、密封袋。

【請求項 2】

前記多層状の周壁は前記基準流体と接触した内側ポリマー層、外側ポリマー層、及び前記内側ポリマー層と前記外側ポリマー層との間の気体遮断層を含む、請求項 1 に記載の密封袋。

【請求項 3】

前記多層状の周壁の前記気体遮断層は、アルミニウムで作製されている、請求項 2 に記載の密封袋。

【請求項 4】

前記多層状の周壁の前記内側ポリマー層は、熱融着性材料で作製されている、請求項 2 または 3 に記載の密封袋。

【請求項 5】

前記多層状の周壁の内側ポリマー層は、ポリオレフィンで作製されている、請求項 2 ～ 4 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 6】

30

40

50

前記多層状の周壁の外側ポリマー層は、ポリエチレンテレフタレート又はポリアミドで作製されている、請求項 2～5 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 7】

前記単層または多層状のカバーは、少なくとも第 1 のポリマー層、第 2 のポリマー層、及び前記第 1 のポリマー層と前記第 2 のポリマー層との間の第 1 の気体遮断層を含む、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 8】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 の気体遮断層は、酸化アルミニウム又は酸化ケイ素で作製されている、請求項 7 に記載の密封袋。

【請求項 9】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 のポリマー層は、熱融着性材料で作製されている、請求項 7 又は 8 に記載の密封袋。

【請求項 10】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 のポリマー層は、ポリオレフィンで作製されている、請求項 7～9 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 11】

前記単層または多層状のカバーの前記第 2 のポリマー層は、ポリエチレンテレフタレート又はポリアミドで作製されている、請求項 7～10 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 12】

前記単層または多層状のカバーは、前記第 1 のポリマー層と前記第 2 のポリマー層との間に少なくとも 1 つの第 1 の追加的ポリマー層を含む、請求項 7～11 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 13】

前記単層または多層状のカバーは、第 2 の気体遮断層を更に含む、請求項 7～12 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 14】

前記単層または多層状のカバーの前記第 2 の気体遮断層は酸化アルミニウム又は酸化ケイ素で作製されている、請求項 13 に記載の密封袋。

【請求項 15】

前記単層または多層状のカバーは、前記第 1 のポリマー層と前記第 2 のポリマー層との間に第 2 の追加的ポリマー層を更に含む、請求項 12～14 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 16】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 及び／又は第 2 の追加的ポリマー層は、ポリエチレンテレフタレートで作製されている、請求項 12～15 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 17】

前記多層状の周壁を構成する前記層のうち少なくとも 1 つは、二軸配向ポリマーである、請求項 1～16 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 18】

前記単層または多層状のカバーを構成する前記層のうち少なくとも 1 つは、二軸配向ポリマーである、請求項 1～17 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 19】

前記カバーは、前記袋の前記内側から前記周壁に取り付けられている、請求項 1～18 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 20】

前記カバーは前記周壁の取り付け部分に取り付けられており、前記取付け部分は前記開口部の周りの周辺部に配置されている、請求項 1～19 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 21】

前記多層状の周壁の前記内側ポリマー層を前記単層または多層状のカバーの前記第 1 の

10

20

30

40

50

ポリマー層と封止係合することにより、前記多層状の周壁及び単層または多層状のカバーは互いに結合されている、請求項 1～20 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 22】

前記基準流体は、 CO_2 、 O_2 、 K^+ 、 Na^+ 、 Ca^{2+} 、 Cl^- 、グルコース、乳酸塩、ヘモグロビン、クレアチニン、クレアチン及び尿素からなる群から選択される少なくとも 1 つの分析物を含む、請求項 1～21 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 23】

前記基準流体は、クレアチニン及び／又はクレアチンを含む、請求項 1～22 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 24】

前記基準流体は、酸素を含む、請求項 1～23 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 25】

アクセスプローブによって穿孔されるように適合された封止要素を更に備え、前記封止要素は、前記アクセスプローブが袋を貫通したときに、前記袋と前記アクセスプローブとの間の漏洩を防止する、請求項 1～24 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 26】

前記袋の内側面に取り付けられた支持要素を更に備える、請求項 1～25 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 27】

前記支持要素及び前記袋の前記内側面は、同一材料で作製されている、請求項 26 に記載の密封袋。

【請求項 28】

前記支持要素は、アクセスプローブを受け入れる少なくとも 1 つの通路を含む、請求項 26 又は 27 に記載の密封袋。

【請求項 29】

前記開口部は、前記支持要素を通る前記通路と位置合わせされている、請求項 28 に記載の密封袋。

【請求項 30】

前記カバーは、前記支持要素と前記開口部の周りの前記周壁との間に配置されている、請求項 26～29 のいずれか一項に記載の密封袋。

【請求項 31】

請求項 1～30 のいずれか一項に記載の密封袋と、前記単層または多層状のカバーを穿孔することによってアクセスポートを通り前記密封袋内へ挿入するように適合されたアクセスプローブであって、前記基準流体を前記アクセスポートを通して取り出すように更に適合されている前記アクセスプローブと、を含む基準流体袋アセンブリ。

【請求項 32】

体液のパラメータを測定するための分析機器に、センサの較正又はセンサの品質制御のための複数の基準流体を提供するために適合された容器であって、少なくとも 1 つの請求項 31 に記載の袋アセンブリを含む、容器。

【請求項 33】

前記多層状の周壁の内側ポリマー層は、ポリプロピレン又はポリエチレンで作製されている、請求項 5 に記載の密封袋。

【請求項 34】

前記多層状の周壁の内側ポリマー層は、ポリエチレンで作製されている、請求項 33 に記載の密封袋。

【請求項 35】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 の気体遮断層は、酸化アルミニウムで作製されている、請求項 8 に記載の密封袋。

【請求項 36】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 のポリマー層は、プロピレン又はポリエチレン

10

20

30

40

50

で作製されている、請求項 10 に記載の密封袋。

【請求項 37】

前記単層または多層状のカバーの前記第 1 のポリマー層はポリエチレンで作製されている、請求項 36 に記載の密封袋。

【請求項 38】

前記単層または多層状のカバーの前記第 2 のポリマー層は、ポリアミドで作製されている、請求項 11 に記載の密封袋。

【請求項 39】

前記単層または多層状のカバーの前記第 2 の気体遮断層は酸化アルミニウムで作製されている、請求項 14 に記載の密封袋。

10

20

30

40

50